ニューヨーク補習授業校だより

架け橋

令和６年（2024 年）10 月 18 日　　第 21 号　　校長 小島　昇

音読発表会



Ｌ Ｉ校の初等部では、幼初等部の朝会の場でクラスごとに音読発表をしています。10 月 12 日は５年生の発表の番でした。

国語の教科書に掲載されている「平家物語」の一節「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。娑羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。驕れる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。…」を言葉のひびきやリズムを味わいながら、クラスのみんなで声を合わせて暗唱しました。５年生にとっては難しい言葉のある古典ですが、日本では多くの人に知られている作品です。難しいから扱わないという選択もあります。今回は、難しいかもしれないけれどチャレンジするという選択をしました。

補習校で勉強しているからこそ、またチャレンジしたからこそ出会えた日本の文化です。他のクラスの音読発表が、来週からも続きます。他の学年の発表も楽しみです。

日本の学校への体験入学を終えて



今年も現地校・補習校の夏休みを利用して、たくさんの子どもたちが日本に一時帰国し、日本の学校へ体験入学をしてきました。受け入れ側の自治体や学校の事情があり、受け入れ体制も様々ですが、提出いただいたアンケートからは貴重な体験となったことが分かります。

体験入学に関しての感想からいくつかをご紹介します。

- 補習校でやっている授業内容と進みが同じだったので、小学校での授業にすんなり入っていけたと思います。小１から補習校に行っていて良かったなと感じました。授業参観では音読の発表会があり、練習をはり切ってやるきっかけとなり、自信にもつながったと思います。
- 日本の小学校へ初めての体験入学でしたが、毎日楽しく通うことができました。来年もまた体験入学できるように、補習校での学習を親子で取り組んでいきたいと思います。
- 勉強には少し苦戦していましたが「ママ、アメリカは〇〇だけど、日本の学校は〇〇なんだよ！」と意外と割り切って順応していました。学校の下校時に、徒歩３分程の距離ですが、１人で歩いて帰ってくるのも自信がついたようでした。また来年も体験入学できたらと思います。
- 体験入学３年目となった今夏、学校側から米国での学校生活や日々の生活を紹介するプレゼンテーションを依頼され、スライド５枚強を準備し、〇〇が教室で発表をしました。質疑応答も含め、とても盛り上がり生徒達の関心も高かったようで、学校長から感謝の言葉をもらいました。「受け入れてもらっている」から「貢献できる」に少しシフトしたように思い、また〇〇にとってもやりがいのある良い経験となりました。
- 受け入れて下さる学校側のご厚意によって、娘は 17 日間も日本のお友達といっしょに学ばせて頂きました。一時的といえども、担任の先生のご負担が増えるわけで、そういう意味でも体験入学で過ごすことができた時間は大変貴重で有難いものでした。可能であれば来年もお願いできればと思います。

海外子女教育振興財団からの協力依頼です

「お子さんの現地での就学に関するアンケート」

海外子女教育振興財団では、これから海外へ渡航されるご家族に向けて、教育相談や窓口、電話やメール等を通じて、現地の教育事情等を情報提供しています。

皆さんがお住いのエリアやお子さんがお通いの学校の情報は、これから渡航される方にとって、大変貴重な情報となります。

つきましては、現地の情報を是非お寄せいただきたく、可能な範囲で結構ですので、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。本アンケートは匿名でご回答いただけます。また、メールアドレスなど個人を特定するような入力項目はございませんので安心してご回答いただけます。

==========

▼お子さんの現地での就学に関するアンケート▼

https://www.joes.or.jp/syugaku_questionary

※所要時間 10 分程度。

※本アンケートは１フォームにつき、１つの学校情報を提供いただけます。別の学校の情報を入力する際にはお手数ですが、再度 URL よりアクセスをお願いいたします。

※お知らせいただきました内容は出国者への情報提供のために活用させていただき、その他の目的では使用いたしません。

※誹謗中傷や無関係な情報の入力はご遠慮ください。